

志摩クリエイターズオフィス 志摩の小庭 いのこ野

「木づかい宣言」

令和5年3月 ～ 令和8年2月

「志摩の小庭 いのこ野」は、伊勢志摩国立公園・賢島の対岸にあります。2800坪ほどの敷地には、起伏がある緑豊かな自然林と国登録有形文化財である「旧猪子家住宅」があります。昭和9年に建設された「旧猪子家住宅」は、木造伝統工法で建てられた建築物で、志摩地域における昭和初期の文化や歴史を感じることが出来ます。

私たち志摩クリエイターズオフィスは、この「志摩の小庭 いのこ野」にある自然・文化・歴史といった魅力的な要素を活用するべく、施設の整備や事業の企画、調整等を行っています。

新しくできた「いかだ丸太の家」は各建築賞で大きな評価をいただき木造建築の面目躍如というところです。

現在は、敷地内の建物や散策する小道等の整備を行うなど、「志摩の小庭 いのこ野」を活用してもらえるプロジェクトを進めているところです。

このプロジェクトの一環として、3つの研究所の看板を掲げました。伊勢志摩国立公園にある志摩の将来を見据えた計画とし、地域の活性化を推進する拠点の一つを目指します。

- ①志摩という国研究所 ②気候風土と住まい方研究所
- ③NGO国際海洋研究所日本支部志摩分室

同じ関心を持つ専門家や若者が集い、意見を交わし、実践する場所になることを希望しています。そのためにいかだ丸太の家の西側に、野外ウッドデッキを作ることにしました。使われず倉庫に眠っていた古木材を再利用します。

今回の木づかい宣言では、「人の場所」をメインテーマに、志摩の自然と人の関わり、森林の保全・育成等をより具体的に発信し活動したいと考えています。

木づかい運動計画書

下記建設予定設備の木造・木質化を実施します。

実施日：令和5年3月～

施設名：「いかだ丸太の家」

住所：三重県志摩市阿児町神明693「いのこ野」内

県産材使用部分：看板 ウッドデッキ床材（予定）



看板を制作し、西側に人が集えるウッドデッキを作ります。

木製作品の制作販売及び森林環境教育活動を実施します。

実施日：「いかだ丸太の家」整備完了以降（状況報告予定：随時）

用途：「志摩の小庭 いのこ野」内にある様々な素材を活用した手づくりの木製作品の制作（販売も行う）や森林環境教育活動を実施することを通じて、建築を含めた志摩の文化、歴史及び自然を発信するとともに、木材の魅力をPRします。

※これらを一環とした活動により得られた収益を維持管理に回し、運営から管理まで「志摩の小庭 いのこ野」内で循環させることを計画しています。